

岡崎ホームニュース

薪割り体験



丸ごと1日山里体験

千万町楽校 木とふれあう

額田の旧千万町小学校の千万町楽校で9月24日、「木とふれあう丸ごと1日山里体験・体感会」が開かれます。千万町・木下ふるさとづくり委員会が企画した同地区の山里のお宝を発信、交流プロジェクト。午前9時半に開会式を開き、岡崎森林組合長の眞木宏哉さ

んの森の話「岡崎の山里の魅力を発信」のちを支える水源の森は岡崎の宝（午前9時40分から）▽薪割り体験（10時半）▽ジビエバ

ーベキューと五平餅作り（11時）▽岡崎の水源巴山での間伐体験（午後1時）▽水源散策（3時）を行います。4時半閉会式。

新世紀岡崎チャレンジ100採択プロジェクト。小学生高学年以上が対象、募集は30人以上程度。参加費1000円。親子の参加を歓迎。申込は郵送、FAX、電子メールで。締切は8月31日。詳細は千万町楽校ホームページで。☎荻野さん090・7687・7855

ウッドパーク 一般公開

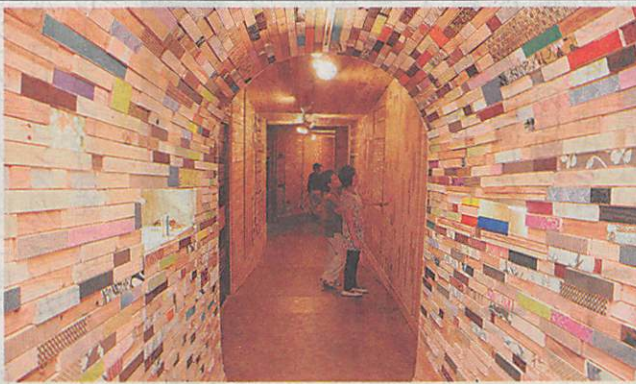
岡崎 三河産タイルなど展示

あいち
トリエンナーレ
2016

三河産の木材を使ったタイルなどの展示や販売をする岡崎市鍛冶町の「ウッドデザインパーク」が十月末の開業を前に、一般公開されている。十月二十三日まで。

パークはリフォーム業のニッカホーム(名古屋市)が地元のスギやヒノキの魅力を発信しようとして、乙川の中州約四千平方メートルの敷地で建設中。あいちトリエンナーレに合わせたパートナーシップ事業として期間中に公開する。
木製タイルの展示場

には、一般家庭の壁などに取り付けられる多彩な模様や形のタイルが飾られ、幻想的な雰囲気が漂う。展示場の外には、川沿いの遊歩道や水遊びができる池、ツリーハウスなどもある。今月一日には近所の



①三河産のスギやヒノキを使ったタイルが並ぶ展示場
②見学会に訪れた地元の住民たち。いずれも岡崎市鍛冶町で



住民向けの見学会が開かれ、約百人が参加。敷地はもともとあった高級料亭が閉鎖し、しば

茶 南山園
西尾市・アビタ 安城郡
西尾市・ツエムサウパーク 製造元

らく荒地地のようになっていたため、住民らは「こんなすてきに生

まれ変わったなんて」と感激していた。入場料五百円、予約が必要。④ウッドデザインパーク 052(838)9021

(森田真奈子)

間伐やジビエ料理 山里の暮らし体験 岡崎で24日

木の間伐やジビエ肉のバーベキューなど山里の暮らしの体験会が二十四日午前九時〜午後四時半、岡崎市北部の山間地域、千代町で開かれる。小学生以上が対象で、十四日まで参加者を募っている。

市制施行百周年に合わせた市民企画「チャレンジ100」の一つ。千代町と隣の木下町の住民でつくるふるさとづくり委員会

が、山間地域の魅力を生かして、市街地の住民にも知ってもらおうと企画した。

当日は旧千代町小学校で林業関係者が雨水の保水や水質の浄化、土砂災害の防止といった森林の役割を解説した後、森の中でまき割りや間伐を体験する。昼食は五平もち作りとインシシ肉のバーベキューを楽しむ。

委員会の荻野嘉美さんは「親子連れなどに参加してもらい、森の機能や魅力を楽しみながら感じてもらえれば」と話している。参加費千円、定員三十人程度。旧千代町小学校のホームページ(千代町楽校)で検索の申込書か、電話で申し込む。④荻野さん 090(7687)7855